スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

福島県白河市

自 治 体 名 ： 福島県白河市
担 当 課 名 ： 教育委員会事務局学校教育課
電 話 番 号 ： 0248-22-1111

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	305.32㎢
人口	55,495人
公立中学校数	7校
公立中学校生徒数	1,486人
部活動数 （運動部活動のみ）	65部活 （運動部）
地域クラブ活動数	11クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

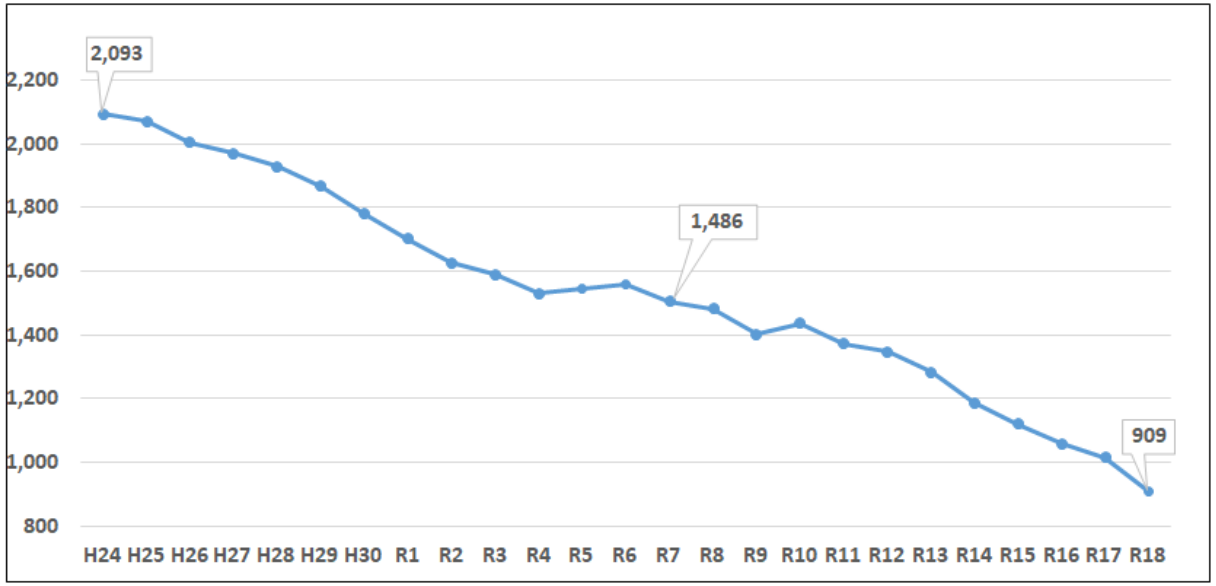
市内には中学校が7校あり、令和7年度は1,486名の生徒が在籍しているが、少子化の進行により、全国的な傾向と同様、当市においても生徒数は減少傾向にある。また、令和18年度には、現在の約3分の2の生徒数になることが想定されている。

生徒数の減少により、現状の部活動数を維持することが年々困難となってきており、部員数の減少に伴い廃部や休部となる部活動が出始め、生徒の選択肢が狭まってきている。

特に、野球、ソフトボール、バスケットボール、バレーボール、サッカー等の団体競技の部活動においては、1つの学校でチームを組むことができず、複数校による合同チームで大会に参加する学校も増加傾向にある。

当市では、この課題に対して、地域や学校と連携しながら、生徒が継続して活動できる体制の整備を進めている。

課題として、将来的な受益者負担の検討、指導者の確保、地域参加型の受け皿となる団体の確保、会場や移動手段の検討、生徒・保護者・学校・指導者の理解等が挙げられる。



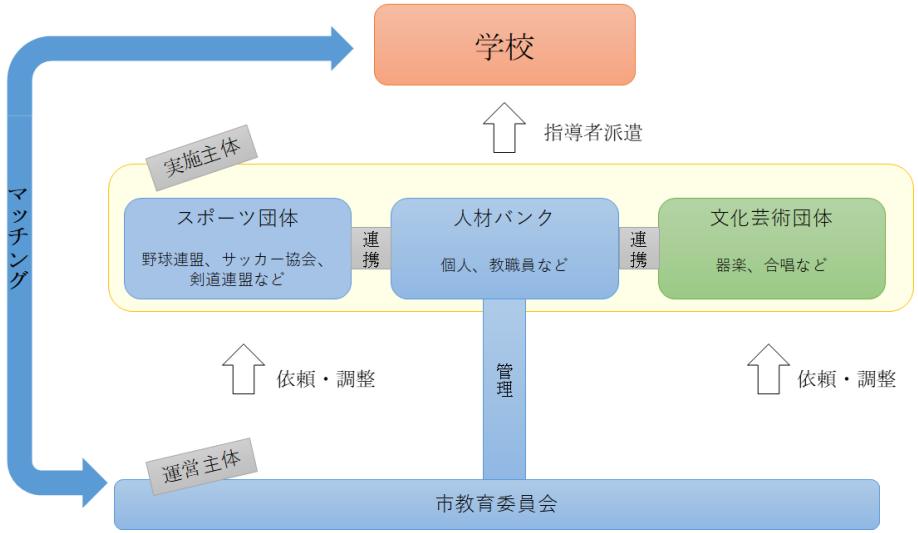
出典：白河市部活動地域移行推進計画（令和8年以降は在校生徒数と出生数をもとに算出）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会（学校教育課）
・部活動地域移行の体制整備、学校・指導者との連絡・調整

◉市長部局（文化振興課、スポーツ振興課）
・スポーツ・文化芸術団体の情報提供

◉コーディネーター
・関係者との連絡調整・指導助言
・派遣の連絡調整、スケジュールや活動場所の調整等

年間の事業スケジュール

令和7年4月	モデルケース実施（剣道・ソフトボール）
令和7年5月	各スポーツ・文化芸術団体への説明
令和7年6月	教職員への指導希望調査
	各スポーツ・文化芸術団体への指導者の推薦依頼
令和7年7月	指導者への熱中症対策通知
	各スポーツ・文化芸術団体への聞き取り
令和7年9月～	随時、新たに実施するモデルケース関係者との打ち合わせ
	実施済モデルケースの関係者へのアンケート調査
令和7年10月	第1回白河市部活動地域移行協議会実施
	保護者への説明会実施（陸上・野球）
	教職員への聞き取り
令和7年11月	モデルケース実施（陸上）
令和7年12月	新入生保護者への説明会実施
	モデルケース実施（野球）
	第2回白河市部活動地域移行協議会実施
令和8年1月	保護者への説明会実施（サッカー）
令和8年2月	保護者への説明会実施（卓球）
	モデルケース実施（サッカー・卓球）
	第3回白河市部活動地域移行協議会実施
	人材バンク定期研修会実施

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		11クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		11クラブ（11部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		0クラブ
全体の指導者数	42人	全体の運営スタッフ数	3人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
東北中ソフトボールクラブ	教育委員会	ソフトボール	・休日　16回	9:00～12:00	1年　7人 2年　3人 3年　9人	令和7年4月～令和8年2月	5人	3人（内、兼務3人）	0円/年額（等）	参加なし
白河中央中剣道クラブ	教育委員会	剣道	・休日　9回	9:00～12:00	2年　6人 3年　8人	令和7年5月～令和8年2月	13人	3人（内、兼務3人）	0円/年額（等）	参加なし
白河中央中陸上クラブ	教育委員会	陸上	・休日　6回	9:00～12:00等	1年　9人 2年　14人	令和7年11月～令和8年2月	10人	3人（内、兼務3人）	0円/年額（等）	参加なし

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●なし

2.実証内容と成果

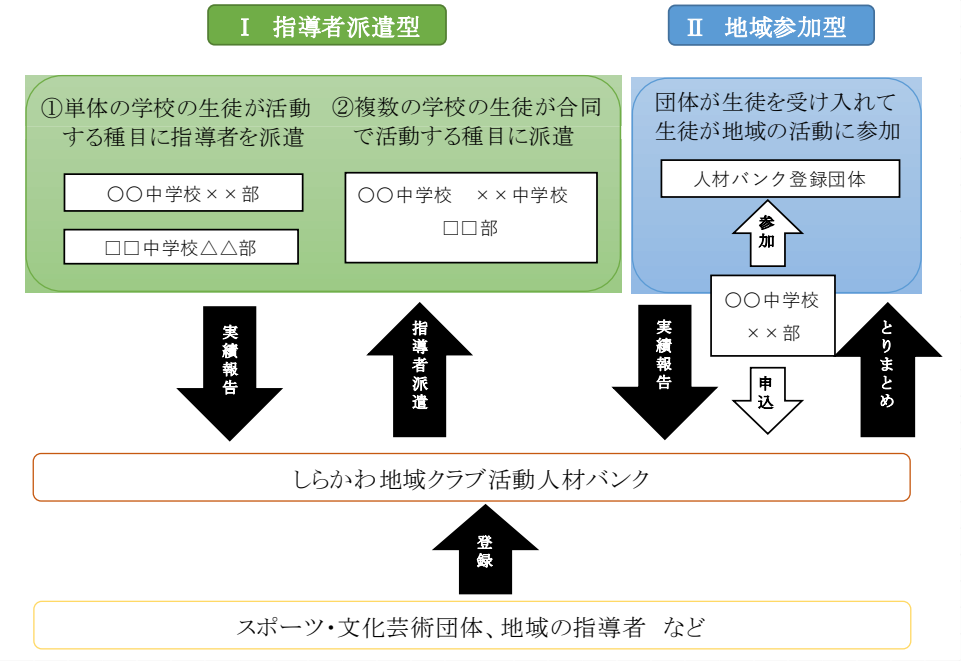
スポーツ庁

主な取組例

●しらかわ地域クラブ活動　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道、ソフトボール、野球、陸上、サッカー、卓球
運営団体名	教育委員会
期間と日数	剣道：月1回程度 ソフトボール：月1～2回程度 野球：月1回程度 陸上：月1回程度 サッカー：月1回程度 卓球：月1回程度
指導者の主な属性	スポーツ協会加盟団体からの推薦者 外部指導者
活動場所	市内各中学校、公共施設
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり： 64歳以下　1,850円/年 65歳以上　1,200円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●自治体

役割：指導者との連絡調整を行う。運営体制の整備を行う。

●しらかわ地域クラブ活動指導者

役割：指導の責任者。技術指導や活動報告を行う。

●しらかわ地域クラブ活動副指導者

役割：指導者の技術指導の補助を行う。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

令和6年度は人材バンクを設置し、剣道とソフトボールの指導者15名を登録することができた。

令和7年度はモデルケースの拡大のため、スポーツ協会加盟団体や学校へ調査を行い、登録者を増加させる。

また、指導者の登録前研修会のほか、救急救命やコーチング等の定期研修会を実施することで、質の向上を図る。

今後の取組における課題

- モデルケース拡大のため、更に多くの指導者を確保する必要がある。
- 指導者派遣型における指導者の確保に加え、地域参加型の実施を見据え、活動の受け皿となる団体の確保に取組む必要がある。
- 定期研修会の開催数を増やすことに加え、参加人数の増加を促す取組が必要になる。

取組の成果

- 人材バンクの活用によりマッチングできた人数が前年度から27名増加した。
- 指導者の質を確保するため公募はせず、全中学校の部活動顧問への聞き取りを通じた外部指導者の情報収集、スポーツ協会からの推薦等により、適切な指導者の確保に努めた。
- 登録前研修会については、指導者が受講しやすいよう、WEB動画を作成し、各々がオンラインで受講できる体制を整備した。
- 定期研修会を実施し、9名の指導者が参加した。

課題への対応方針

- 既存の選定枠組み（スポーツ協会からの推薦・外部指導者）を拡充するとともに、指導を希望する教職員が柔軟に登録できる体制を整備する。
- 団体バンクを設置し、協力可能な団体への聞き取りや調整を行ったうえで、活動の受け皿となる団体を登録し、モデルケース実施に向けた体制を整備する。
- 定期研修会について、指導者へアンケート調査を実施し、そのニーズに基づいた研修内容を検討する。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

- 「スポーツ協会総会」「スポーツ少年団総会」等の場で、地域移行の取組説明や、指導者の推薦依頼を行った。
- 外部指導者の情報収集のため、全ての学校の部活動顧問を対象に聞き取り調査を行った。
- 令和5年度に実施したアンケートにおいて地域移行への協力が可能と回答したスポーツ協会加盟団体やスポーツ少年団の代表と打ち合わせを行った。

指導者研修の内容

研修名	定期研修会
講師	白河広域消防本部
研修内容	第一部 普通救命実技講習 第二部 指導についての意見交換 ・指導者を2つのグループに分け、意見交換

指導者からの意見

〇指導について心がけていること
- こども達がのびのび楽しく、基礎体力の向上ができること。
- 平日の練習の延長となること。中学生に分かりやすく。
- こども達の伴走支援をする気持ちで。

〇運営について
- 実施日や出欠の連絡方法を改善してほしい。
- 週末の練習を平日に引き継ぐために顧問と話す場が欲しい。
- 学校単位で指導者を固定してほしい。指導方針を統一するため。

〇その他
- 経験のない教職員でも指導者に登録してもらえれば、指導方法を教えることができる。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

令和6年度は、モデルケースの実施に係る受益者負担について、公費負担とした。

令和7年度は、引き続き公費で負担するほか、持続可能な地域クラブの運営体制の構築に向けた検討をするための材料として、実績額のとりまとめを行う。

今後の取組における課題

- 総支出の8割以上を事務局運営費が占めており、内容はほぼ人件費となっている。今後の事業運営においては、引き続き人件費の適正化を図る必要がある。
- 地域クラブ活動費および事務局運営費の消耗品費は低く抑えられているが、今後の事業拡大に伴い必要となる消耗品の検討が必要となる。

取組の成果

- 当初の計画通り、モデルケース実施に係る費用を全額公費負担とすることで、保護者の経済的負担を軽減することができた。
- 次年度以降の持続可能な地域クラブ運営体制の構築に向け、基礎資料となる今年度の実績額をとりまとめることができた。

課題への対応方針

- 業務の効率化を図るため、ICTツールの導入による自動化、業務の集約とマニュアル化等を行う。
- 学校や指導者へのヒアリングを行い、新たに必要となる消耗品費等（AED、医薬品費、シャトル等の用具）を精査する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

収支バランス

- 収入のすべてが公費で賄われており、自己財源の確保には至っていない。モデルケース期間の終了を見据え、適切な受益者負担額の導入について検討が必要となる。
- 総支出の8割以上を事務局運営費が占めており、内容はほぼ人件費となっている。今後の事業運営においては、業務の効率化を推進し、引き続き人件費の適正化を図る必要がある。
- 地域クラブ活動費及び事務局運営費の消耗品費は低く抑えられているが、今後の事業拡大に伴い必要となる消耗品の検討が必要となる。

●収入

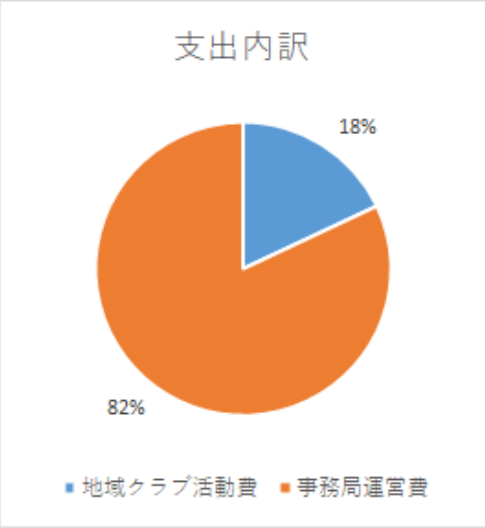
単位：円

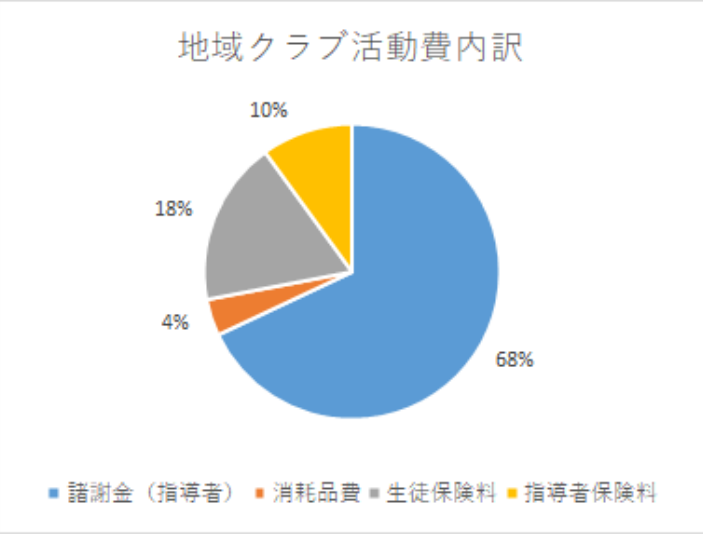
項目	費用	割合
公費	3,732,939	100%
事務局運営費	0	0%
合計	3,732,939	—

●支出

単位：円

項目		費用	割合
地域クラブ活動費		680,413	18%
	諸謝金（指導者）	465,797	68%
	会場使用料	0	—
	消耗品費	30,000	4%
	印刷製本費	0	—
	携帯電話レンタル料	0	—
	雑役務	0	—
	生徒保険料	119,200	18%
	指導者保険料	65,416	10%
事務局運営費		3,052,526	82%
	謝金	28,600	1%
	会場使用料	0	—
	スポーツ教室開催費	0	—
	保険料	0	—
	人件費	3,015,326	99%
	交通費	6,500	0%
	印刷製本費	0	—
	消耗品費	2,100	0%
	備品購入	0	—
	通信運搬費	0	—
	修繕料	0	—
	振込手数料	0	—
	一般管理費	0	—
	消費税相当額	0	—
合計		3,732,939	—





2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

持続可能な運営に必要な受益者負担額の試算

〇モデルケースの実績（ソフトボール※年間を通して活動）

項目	実績
年間活動数	16回
参加生徒数	19名
指導者数	5名

〇地域クラブ活動費

項目	実績
地域指導者謝金	144,600円
生徒保険料 （1人あたり800円）	15,200円
指導者保険料 （1人あたり1,850円）	9,250円
合計	169,050円

1人あたりの参加費用負担（月）※
1,126円

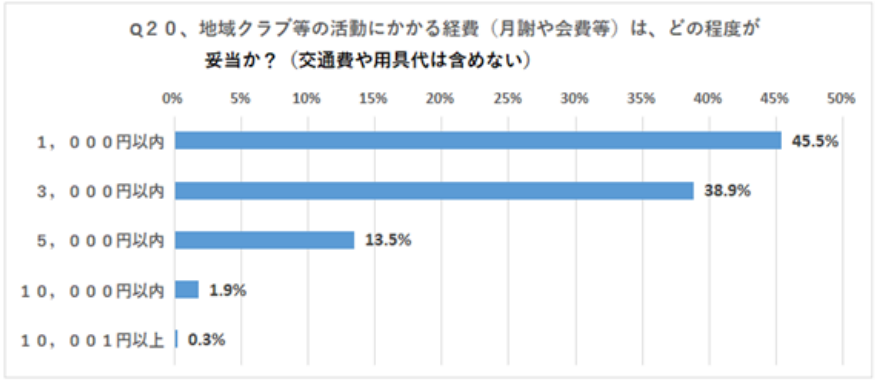
※（謝金負担月額1,059円+保険料月額67円）

【参考】

〇「令和5年度休日部活動の段階的な地域移行に関する調査」（抜粋）

調査対象　中学1・2年生保護者

回答結果　1037名中594名回答



2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- 当市では、モデルケース拡大に向けて、「指導者の質の保障・量の確保」、「参加費用負担の支援」等の取組を実施した。
- 「指導者の質の保障」については、従来の登録前研修会に加え、新たに定期研修会を実施した。普通救命実技講習のほか、指導者との意見交換の場を設けることで、現場の課題の共有と指導力の平準化を図った。
- 「指導者の量の確保」については、スポーツ協会加盟団体や学校への聞き取りを継続的に実施し、加盟団体からの推薦者や外部指導者に加え、次年度以降に指導を希望する教職員の情報等、多様な人材の情報収集を行った。
- 参加費用負担については、令和6年度に引き続き公費負担とすることで保護者への経済的支援を図った。また、将来的に、持続可能な運営体制の構築に資するよう、受益者負担額を検討するための基礎資料として、今年度の実績額をとりまとめた。
- 令和7年度は、モデルケースを6種目11活動へと拡大して実施し、地域移行に向けた取組を大きく進展させることができた。

●成果の評価

- 登録前研修会については、当初対面形式を予定していたが、WEB動画によるオンライン受講体制を新たに整備した。これにより、指導者の受講に関する利便性が向上しただけでなく、事務局の事務負担を大幅に軽減することができた。
- 生徒・保護者・学校・指導者に対し、聞き取りや説明会を重ね、事業の趣旨説明を丁寧に行った。その結果、各方面からの理解が得られ、モデルケースの開始までを円滑に進めることができた。
- モデルケースの拡大について、概ね当初の計画どおりに実施できた。
- 指導者・保護者・事務局の三者間における新たな連絡ツールを導入したが、現時点では十分に浸透していない。

●今後に向けて

- さらなる活動の拡大を目指し、学校とスポーツ・文化芸術団体とのマッチングを継続的に実施する。
- 団体バンクを設置し、協力可能な団体への聞き取りや調整を行ったうえで、活動の受け皿となる団体を登録し、モデルケース実施に向けた体制を整備する。
- 地域クラブ活動における連絡体制の改善に向け、各関係者への聞き取りを行い、利便性の高い情報共有システムの構築に取組む。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

参考資料



【中央中学校剣道クラブ　活動の様子】



【中央中学校陸上クラブ　活動の様子】



【定期研修会の様子】



【第1回白河市部活動地域移行協議会の様子】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年		令和6年		令和7年	令和8年
協議会設置 検討開始	アンケート調査 実施	推進計画策定 人材バンク設置	保護者説明会 モデルケース実施	モデルケース拡大	モデルケース拡大 地域クラブ運営体制の検討

- **ステークホルダー**
  生徒、保護者、学校、スポーツ・文化芸術団体
- **経過**
  令和5年7月：協議会設置（計3回実施）
  令和5年11月：生徒・保護者・教職員・スポーツ・文化芸術団体に向けたアンケート調査の実施
- **実施にあたって生じた課題**
  - 協議会委員の選定
  - アンケート内容の精査
- **実施内容、工夫した点 等**
  - 協議会委員には、市内小中学校の代表や各競技団体の代表者に加え、PTA会長やスポーツ審議会委員も含めた。
  - アンケートでは、モデルケース実施を見据え、スポーツ・文化芸術団体へ具体的な移行時の懸念事項等を募った。

- **ステークホルダー**
  生徒、保護者、学校、スポーツ・文化芸術団体
- **経過**
  令和6年12月：人材バンク設置、保護者説明会実施
  令和7年1月：登録前研修会実施（指導者対象）、新たに実施するモデルケース関係者との打ち合わせ
  令和7年2月：モデルケース実施
- **実施にあたって生じた課題**
  - 指導者の質の保障・量の確保
  - 受益者負担の検討
- **実施内容、工夫した点 等**
  - 指導者に登録前研修会の受講を義務付け、指導者の質を保障した。
  - モデルケース期間の会費を公費負担とした。

- **ステークホルダー**
  生徒、保護者、学校、スポーツ・文化芸術団体
- **経過**
  3ページ「年間の事業スケジュール」のとおり
- **実施にあたって生じた課題**
  - 関係者への説明会実施による事務負担
  - 登録前研修会の実施による事務負担
- **実施内容、工夫した点 等**
  - 関係者への説明会を丁寧に行い、モデルケース実施前に理解を得ることができた。
  - 登録前研修会を動画にすることで、指導者・事務局の負担軽減を図った。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

		令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
目標	休日移行の達成度※１ ※１実施活動数/全活動数(71)			20%	45%	70%
主な取り組み		・協議会の設置 ・関係者へのアンケート調査 ・推進計画の原案検討	・推進計画の策定 ・人材バンクの設置 ・スポーツ・文化芸術団体との協議 ・モデルケースの実施	・モデルケースの検証、拡大 ・指導者の確保 ・学校とのマッチング ・各種支援策の検討 ・研修会の実施	・モデルケースの拡大 ※希望する数員を指導者へ ・指導者の確保 ・学校とのマッチング ・各種支援策の検討 ・研修会の実施 ・部活動の在り方の検討 ・地域クラブ運営体制の検討	・モデルケースの拡大 ※実施可能な全ての部活動 ・指導者の確保 ・学校とのマッチング ・各種支援策の検討 ・研修会の実施 ・部活動の在り方の検討 ・受益者負担の検討 ・活動希望制の検討 ・地域クラブ運営体制の検討
モデルケース実施部活動（種目・実施活動数）	剣道		開始			
	ソフトボール		開始			
	陸上			開始		
	野球			開始		
	サッカー			開始		
	卓球			開始		
	バレーボール					
	ソフトテニス					
	バスケットボール				開始	
	バドミントン				開始	
	器械体操				開始	
	柔道				開始	
	器楽				開始	
	合唱				開始	
	水泳					開始
	種目　計	０種目	２種目	６種目	１４種目	１５種目
	実施活動数※２	０活動	５活動	１１活動	３２活動	５０活動
指導者	主な指導者の属性	なし	・剣道連盟白河支部員 ・外部指導員	・西白河郡市陸上協会員 ・白河卓球協会員	・既存の地域クラブの指導者 ・教職員	・福島県人材バンク登録者
	人数	０名	１７名	４１名	６４名	１００名

※２　各種目で各中学校ごとの部活動を１活動とした際の実施数（例：令和６年度は、剣道４活動、ソフトボール１活動のため計５活動）